

令和5年度第4回
大田原市介護保険運営協議会
【会議録】

- 1 日 時 令和6年2月16日(金)午後1時30分~2時15分
- 2 場 所 大田原市役所 南別館2階会議室
- 3 出席委員 13名(稲村隆夫委員、富永一男委員、渡部貢委員、松本美代子委員、相馬仁美委員、福原健治委員、八木良委員、松本真由美委員、小野田公委員、車田宏之委員、細井直人委員、菊池恵子委員、矢野弥生委員)
- 4 欠席委員 5名(植木重治委員、伊藤清幸委員、丹野洋委員、磯友美委員、高安喜久治委員)
- 5 事務局 益子保健福祉部長、小林高齢者幸福課長、猪瀬高齢支援係長、前田介護管理係長、大久保介護サービス係長、田口地域支援係長、小林副主幹、阿久津主査
計画策定コンサルティング (株)アールピーアイ栃木2名
- 6 内 容
 - (1) 開会・進行 小林高齢者幸福課長
 - (2) あいさつ 益子保健福祉部長
車田会長
 - (3) 諮問書交付
大田原市介護保険条例施行規則第7条の規定により、「大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(あんしんプラン)第9期計画(介護保険料を含む)」について諮問するために、益子保健福祉部長から車田会長へ諮問書を交付した。
 - (4) 会議録署名人の指名
車田会長から小野田公委員、細井直人委員が指名された。
 - (5) 議 事
 - (1) 諮問事項 あんしんプラン第9期計画(介護保険料を含む)について
【資料1】【資料2】【資料3】
あんしんプラン第9期計画(案)について、第3回協議会時に示した計画(案)からの変更を資料2のとおり説明した。
また、第9期計画期間中の介護保険料の概要を説明した。
上記を説明の上、今回示したあんしんプラン第9期計画(案)を最終案として諮問した。

<質 疑>

(八木委員)

第3回大田原市介護保険運営協議会で質問した内容に関して真摯に対応していただきありがたい。また、市民から質問があった時には説明がつく形にしておいたほうが良いと提案したため、保険料の説明資料を作成したと思われるが、その内容はあんしんプランの中には掲載するのか。あんしんプランの中では、基金の取り崩しに関する説明はほぼあったのでその辺をきちんと説明として載せたほうがいいのかと質問したのだが、これを掲載するというだけでいいか。

(事務局)

プランに掲載する予定はないが、補助資料として一緒に配布や施設に置くなどしたい。

(八木委員)

本会議の議事録については、委員の皆様へ送付しているのか。

(事務局)

全ての委員へ送付している。

(八木委員)

前回の議事録3ページの中ほどの、「慶應義塾大学の研究があり、国が県を通して指導や助言をしたほぼすべての例において基金を全額、あるいは県によっては最低8割取り崩すよう助言があったと掲載されているが、大田原市が72%を残すことに対して国や県から指導は来っていないのか。」という質疑に対し、事務局から「指導助言はない。慶應義塾大学の論文については読んでいるが、国や県から指導があったのは介護保険制度が始まった初期の頃であると考えている。」という応答が記載されている。その内容について詳しく説明すると、この研究は2020年9月に受付、2021年8月に掲載が決定された資料であり、2015年から2017年の第6期計画の介護保険料設定について、秋田県と神奈川県との2県47市町村を対象に実施したヒアリング調査であり、介護保険制度の発足した当初のものではないことを申し添える。

(渡部委員)

大田原市の介護保険料について、今後の推移を教えてください。

(事務局)

介護保険料は、国から提供されている見える化システムを使用し、これまでの実績を基に、大田原市で重点的に取り組む介護予防などの施策を反映し、推計している。例えば10年先、20年先は目先が長く粗いデータだが、2040年の推計値はプラン179ページの「<参考>令和22年(2040年)の保険料について」の表にあるように、第8

期計画期間の介護保険事業費は単年当たり 65 億円、第 9 期計画期間 73 億円、2040 年度 94 億円となる。保険料の基準額（月額）は第 8 期計画期間では 6,000 円、第 9 期では 6,500 円、2040 年には 8,600 円という計算結果が出た。見える化システムでは、大田原市の高齢者人口は 2040 年をピークに減少するが、後期高齢者、特に 85 歳以上の 3 分の 2 の方が介護保険サービスを利用するという推計データが出ているため、介護給付費のピークはそれより数年先となり、その後減少していくと考えられる。

（八木委員）

保険料の基準額（月額）6,500 円というところであるが、栃木県内ではどのくらいの位置付けか。

（事務局）

他市町の情報はまだ入っていないが、上位だと思われる。

（八木委員）

資料 3 の右上の部分の（5）について、令和 5 年度末基金残高 8 億 1,487 万 5,000 円は、「※令和 5 年度残額は見込額を利用」と説明があるように予定額だと思うが、いつまでの見込額なのか、また、金額の増減はあるのか。

（事務局）

令和 5 年度末基金残高について、現在は約 8 億 1,000 万円の見込だが、2 月 19 日（月）に約 3,000 円の利息収入があるため、それを含めて算出している。基金は余剰金の管理であるが、前年度の繰越金が基盤となり、前年度の精算、年に複数回の利息のみの収入となるので、見込額の大きな増減はないと考えられる。また、介護給付費については、令和 5 年度特別会計として、5 月まで支出が残っているため、積み上がるのか、基金の取り崩しが発生するのか読めない状況である。

（八木委員）

第 7 期計画の最後の会議で示された年度末基金残高と、議会へ提出された残高が数千万円の単位で増えていたため、今回このような質問をさせていただいた。

<<（1） 諮問事項について了承>>

諮問事項「大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（あんしんプラン）第 9 期計画（介護保険料を含む）」については原案のとおり市長に答申する。

（2） 報告事項 令和 6 年度介護保険特別会計予算（案）について【資料 4】

令和 6 年度の介護保険特別会計予算（案）について、「資料 4」のとおり説明し

た。歳入歳出予算総額は73億7,650万円で、令和5年度と比較して1,650万円、0.2%の増となる。令和6年第1回市議会定例会へ議案として提出したことを報告した。

<質疑なし>

(6) その他

(事務局)

今後のスケジュールについて説明した。

- ・事務局において答申案を作成し、車田会長に了解をいただいたうえで市長に答申する。
- ・3月開催の庁議において計画決定がされる。
- ・4月に議会報告し、本協議会の委員を含め、関係者にプランを配布する。
- ・令和6年度の会議は、7月と3月の2回の開催を予定している。

(7) 閉会

以上